

◎ 1回切り
幅2cm程度の紙の中に児童が好きな広告や絵などを貼っておく。切ったら中身が見えるようにしておく。

◎ 連続切り

幅を大きくしていき、連続切りの練習をする。



◇指導のねらい

・はさみに対して、意欲がない児童に、「切る」必然性を持たせて、楽しみながら、はさみの学習をする。

◇基本の使い方

1回切りを練習して、できるようになったら連続切りに移行。幅は実態によって変えていく。

◇指導の評価

はさみを持って、「切る」意欲がなく、使えなかった児童が、「切る」ことがわかり、意欲的に学習した。

T.S (小3) の場合

自閉症児で、コマーシャルが大好き。特に、シャンプーや薬局の商品が好きなので、中身は、ドラッグストアの広告を使用した。一回切りは、すぐクリアした。連続切りは、教師と共に、はさみを持ち、「開いて」「閉いて」のことばをかけて、開閉の練習をした。一人で操作できるようになった。

Y.Y (小4) の場合

自閉症児で、食材が大好き。一回切りから始めた。連続切りも一人でできるようになった。紙の端に切る目印の線で練習した。線に合わせてはさみで切るようになった。